

平成29(2017)年度

学生募集要項

大学院工学研究科(博士後期課程)
【2月日程】

公立大学法人 前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

目 次

入学者受入方針	1
I 募集人員	2
II 募集要項	
A 進学者選抜	2
B 一般選抜及び社会人、外国人留学生特別選抜	3
C 修業年限の短縮	5
III 出願、合格発表、入学手続き	5
IV 入学資格審査	7
V 障がいをもつ等の入学志望者との事前相談	8
VI 社会人特別選抜に関する特例措置	9
VII 出願書類一覧	10
博士後期課程開設研究室一覧	12～21

■ 添付書類

- A票 進学志望票
- B票 入学志望票
- C票 受験票
- D票 写真票
- E票 志望理由書
- F票 研究計画書
- G票 修士論文の概要、研究経過報告書
- H票 研究業績・技術開発業績調書
- I票 身元保証書
- J票 入学検定料納付証明書
- 入学検定料振込依頼書
- 提出書類送付用ラベル

前橋工科大学大学院工学研究科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

博士後期課程（環境・生命工学専攻）

学内外を問わず環境・生命工学に深い関心を持ち、博士の学位を取得しようとする強い意志を持つ修士修了見込みの者及び既に修士修了後に社会で活躍しながら、自己の研究能力の更なる向上を図り、博士の学位取得を目指す人材を選抜する。

また、世界に開かれた研究科との観点から外国人留学生の受入れも積極的に行う。博士後期課程へ入学しようとする者は自身が作成した修士論文要旨や学術論文を提出し、さらに語学（TOEIC など可）と専門に関する記述試験、研究能力に関する口頭試問などを受けなければならない。なお、学業成績優秀者、企業における研究開発などの活動が十分な者に対しては記述試験免除の制度がある。

I 募集人員

研究科名	専攻名	分野	募集人員
工学研究科	環境・生命工学専攻	環境デザイン工学分野	2名
		生命工学分野	

志願者は、12ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

II 募集要項

A 進学者選抜

1. 出願資格

平成29年3月31日までに本学工学研究科（博士前期課程）を修了見込みの者

2. 選抜方法及び試験日程等

(1) 選抜方法：〔下記①と②により、総合的に行います。〕

①修士論文の概要・研究経過報告書、研究計画書、研究業績・技術開発業績調書の書類審査

②面接（口頭試問を含む。）

(2) 試験日：平成29年2月5日（日）

(3) 試験時間：11時00分から

(4) 試験場：前橋工科大学（面接室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します）

試験実施時間

選抜名	時間割	
	11:00	12:00
進学者選抜		面接

3. 受験上の注意事項

(1) 受験者は、試験開始30分前までに面接控室に入室し、着席してください。面接開始時（11時00分）に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

(2) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに1号館1回大学事務局で仮受験票の発行手続きをしてください。また、受験票は入学手続きの際に必要なになりますので、試験後も大切に保管してください。

(3) 当日は、筆記用具を必ず持参してください。

(4) 面接控室における受験者間の物品の貸借は一切認めません。

(5) 面接室に入室前、携帯電話やスマートフォンの電源を切ってください。また、時計等のアラーム機能も切ってください。

- (6) 忘れ物がないように注意し、自分のゴミは持ち帰ってください。
- (7) 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
- (8) 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。
- (9) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (10) その他、必要が生じた場合には、後日通知します。

4. 入学に係る経費

6 ページ III 出願、合格発表、入学手続き 4. 入学に係る経費の入学料を除く該当する経費

B 一般選抜及び社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

1. 出願資格

各選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 修士の学位を有する者及び平成29年3月31日までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月31日までに修士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) 本学大学院において、個別の出願資格審査（注）により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 本学大学院が、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 社会人特別選抜については、(1)から(6)のいずれかの要件を有するとともに、次のいずれかに該当する者
 - ① 出願時において、職業を有している者で、引き続き平成29年4月1日（入学時）以降もその身分を有している者、または、職業を有していない者で、平成29年4月1日（入学時）に職業を有している者
 - ② 平成29年4月1日（入学時）現在、満28歳以上の者
- (8) 外国人留学生特別選抜については、日本国籍を有しない者（出入国管理法及び難民認定法において大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者）ただし、日本国籍を有しない者でも日本の大学院の修士の学位を有する者及び授与される見込みの者は、外国人留学生特別選抜への出願はできません。

(注) 個別の入学資格審査について

上記出願資格(5)及び(6)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行いますので、7ページの「IV 入学資格審査」に基づき手続きをとってください。

2. 選抜方法及び試験日程等

選抜方法については、下記のとおりです。

(1) **一般選抜** [下記①から③により、総合的に行います。]

①修士論文の概要・研究経過報告書、研究計画書、研究業績・技術開発業績調書の書類審査

②面接（口頭試問を含む。）

③専門科目に関する筆記試験（英語で出題し、英語又は日本語で解答する。）

(2) **社会人特別選抜** [下記①から③により、総合的に行います。]

①研究計画書、研究業績・技術開発業績調書の内容を主体とした書類審査

②小論文

③面接

(3) **外国人留学生特別選抜** [下記①と②により、総合的に行います。]

①書類審査

②面接〔面接は論文（原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳を添付）等に代えることができます。〕

(4) 試験日：平成29年2月5日（日）

(5) 試験時間：下記のとおり

(6) 試験場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します）

試験実施時間

選抜区分	時 間 割			
	11:00	12:00	13:30	15:00
一般選抜		面接	休憩	専門科目
社会人特別選抜		面接	休憩	小論文
外国人特別選抜		面接		

※ 面接は、志望する分野に関する事項を中心に行います。

3. 受験上の注意事項

(1) 受験者は、試験開始30分前までに試験室等に入室し、着席してください。

(2) 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。

(3) 面接試験においては、開始時（11時00分）に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。

(4) 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。

(5) 当日は、筆記用具を必ず持参してください。

- (6) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階大学事務局で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は入学手続きの際に必要なになりますので、試験後も大切に保管してください。
- (7) 受験票は、机の通路側など監督者が確認しやすい場所に置いてください。
- (8) 試験中に使用を許可するものは、鉛筆（シャープペンも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
- (9) 試験室における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- (10) 昼食の販売は行いませんので、必要な場合には各自で用意してください。
- (11) 試験室等に入室後、携帯電話やスマートフォンの電源を切ってください。また、時計等のアラーム機能も切ってください。
- (12) 忘れ物がないように注意し、自分のゴミは持ち帰ってください。
- (13) 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
- (14) 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。
- (15) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (16) その他、必要が生じた場合には、後日通知します。

C 修業年限の短縮

本研究科では、優れた研究業績を上げていると判断される者は、その業績に応じて標準修業年限を短縮して修了することができます。標準修業年限は3年ですが、本課程に1年以上在学すれば足りるものとします。なお、修業年限の短縮については、入学後、博士論文執筆認定委員会において審議されます。

Ⅲ 出願、合格発表、入学手続き

1. 出願

(1) 受付期間

平成29年1月23日（月）から 1月26日（木）まで
出願受付は、最終日の17時00分必着です。

(2) 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学院入試要項）[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin.html>]よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入等の上、出願書類提出用封筒に入れ、「郵送」又は「持参」により提出してください。

- ① 郵送の場合は、必ず書留(簡易書留も可)速達で郵送してください。
- ② 持参の場合の受付時間は、9時00分から17時00分まで

(3) 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課学生係
〔受付場所：1号館1階事務局〕
TEL 027-265-7361

2. 合格発表

(1) 発表日時

平成29年2月17日（金）10時00分

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本学1号館正面掲示板に掲示するとともに、合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」を送付します。また、合格者の受験番号は、本学ホームページ(<http://www.maebashi-it.ac.jp>)でも掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

3. 入学手続き

(1) 入学手続き期間

平成29年2月27日（月）まで 最終日の17時00分必着です。

(2) 入学手続き方法

入学手続き書類を「郵送」又は「持参」により提出してください。

① 郵送の場合は、必ず書留(簡易書留も可)速達扱いにしてください。

② 持参の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分までです。

(3) 入学手続き先

上記の1. 出願（3）出願先と同じ

(4) 入学辞退

合格者が入学手続き期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

4. 入学に係る経費

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続き時
		141,000円（前橋市内居住者）	
諸 経 費	後 援 会 費	40,000円（本大学以外の大学院等出身者）	入学前
		30,000円（本大学大学院出身者）	
	同 窓 会 費	20,000円（本大学、前橋市立工業短期大学、本学大学院出身者は不要）	
	学生自治会費	16,000円（本大学以外の大学院等出身者）	
		15,000円（本大学大学院出身者）	
災害傷害保険料	3,620円		
授 業 料	前期	267,900円	4月
	後期	267,900円	10月

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が平成29年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者とします。

（平成28年4月1日から平成29年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者）

(注2) 「前橋市内居住者」として入学料を納入した者は、平成29年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(平成29年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出してもらいます。前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入してもらいます。

(注3) 授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料となります。

※ いったん納入した入学料は、どのような理由があっても返還できません。

IV 入学資格審査

一般選抜及び社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の出願資格(5)又は(6)に基づき出願する者は、入学資格認定のため、下記のとおり出願前に審査を行いますので、関係書類を提出してください。なお、必要に応じて、申請書類の内容について問い合わせをする場合があります。

1. 提出期間

平成28年12月2日(金)から12月9日(金)まで

2. 提出方法

- ①郵送：書留(簡易書留も可)速達とし、提出期間最終日の17時00分必着です。
- ②持参：平日の受付時間は9時00分から17時00分までです。

3. 提出書類

- ①審査申請書
- ②審査調書(経歴書を含む)
- ③志望理由書
- ④研究計画書
- ⑤研究業績報告書
- ⑥最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込
- ⑦最終学校の成績証明書
- ⑧国籍及び在留資格を確認できる書類(外国籍の者)
- ⑨審査結果送付用封筒(長形3号の封筒に宛名を明記し、362円分の送付用切手を貼付してください。)

※①、②、⑤については、前橋工科大学ホームページ(トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学院 入学資格審査) [<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin-shikaku.html>]よりダウンロード・印刷し、③、④、⑥～⑧については、10ページの「VII 出願書類一覧」を参照してください。

4. 提出先

5ページの1. 出願(3) 出願先と同じ

5. 入学資格審査の結果

結果は、平成28年12月26日(月)に本人に通知発送します。

6. 出願手続き

入学資格審査の結果、入学資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づき、出願期間内に出願手続きを行ってください。

VIII 障がいをもつ等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいをもつ等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいをもつこととなった場合は、速やかに相談してください。

1. 相談期間

平成29年1月5日（木）から 1月12日（木）まで

2. 相談方法

事前に連絡先まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望学科・障がいの症状及び状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください）及び診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

3. 連絡・提出先

5ページの「1. 出願（3）」出願先と同じ

VI 社会人特別選抜に関する特例措置

(大学院設置基準第14条特例の実施方法及び実施体制)

1. 実施の趣旨及び目的

近年、経済社会の発展や技術革新の急速な進展に伴い、大学院に対する地域社会の期待が多様かつ高度化しており、特に社会人技術者、研究者等の再教育に対する要請は急速な高まりを見せています。

前橋工科大学大学院工学研究科博士前期課程においては、昼夜開講制の導入により、社会人技術者に生涯を通じて職業上必要な高度な専門技術を高める機会を積極的に提供し、社会人の再教育並びに生涯教育の機会拡充に取り組んできました。

今後、地域社会においては、一層の高度化や複雑化、国際化が進展し社会人研究者への継続研究・再教育を必要とする分野の多様化や複合化、内容の高度化が進むものと考えられます。

このため、個々の社会人研究者はもとより、企業においても、新たな知識・研究開発技術を修得させることの必要性が一層高まっています。しかし、企業内教育ですべて対応することは困難となってきました。

このことから、大学院博士後期課程で、より高度な技術を体系的に研究開発することの要請が高まっています。更に、企業等の活動範囲が海外に広がるにつれ、博士の学位取得への要望も高まってきました。

しかし、通常の教育方法で大学院教育を実施した場合、社会人は博士前期課程で2年間、後期課程にあつては3年間その勤務を離れて就学することが必要であり、大学院教育を受ける機会が制約されてしまうことになります。

このような地域社会の要請に応えるため、本学大学院工学研究科では、博士前期課程のみならず、博士後期課程においても昼夜開講制を実施し、社会人技術者・研究者が勤務を離れることなく仕事のスケジュールに合わせて、講義・特別研究等を受講できるよう配慮し、その門戸を広く社会に向けて開放します。

このことにより、通常の教育方法では実現することが難しい社会人への入学機会を与え、社会人の継続研修や研究・開発活動の実践を支援し、就学機会の多様化に応えます。更に、博士の学位については、論文博士の取得しか途がなかった社会人に対して、博士後期課程での体系的な研究指導を受ける途を開くことを可能とします。

また、社会人研究者の入学を橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することも、昼夜開講制を実施する重要な目的の一つに据えています。

2. 昼夜開講制による具体的な履修方法

- (1) 入学時に、研究指導教員の指導のもとに3年間を見通した履修計画を作成します。
- (2) 社会人が仕事のスケジュールに合わせて1～7時限目までの間に開講される講義・特別研究等を受講できるよう、1年次に1～7時限目に担当した授業科目を2年次には6～7時限目に担当することにより、標準修業年限内で、有職者がその勤務を離れずに1～7時限目を開講された講義・特別研究等を受講できます。
- (3) 平日に加えて、土曜日も開講します。
- (4) 社会人学生については、研究テーマに柔軟性を持たせ、企業等での実践的研究が、博士後期課程の研究として相応しいと判断する場合は、それを研究テーマとして認めます。

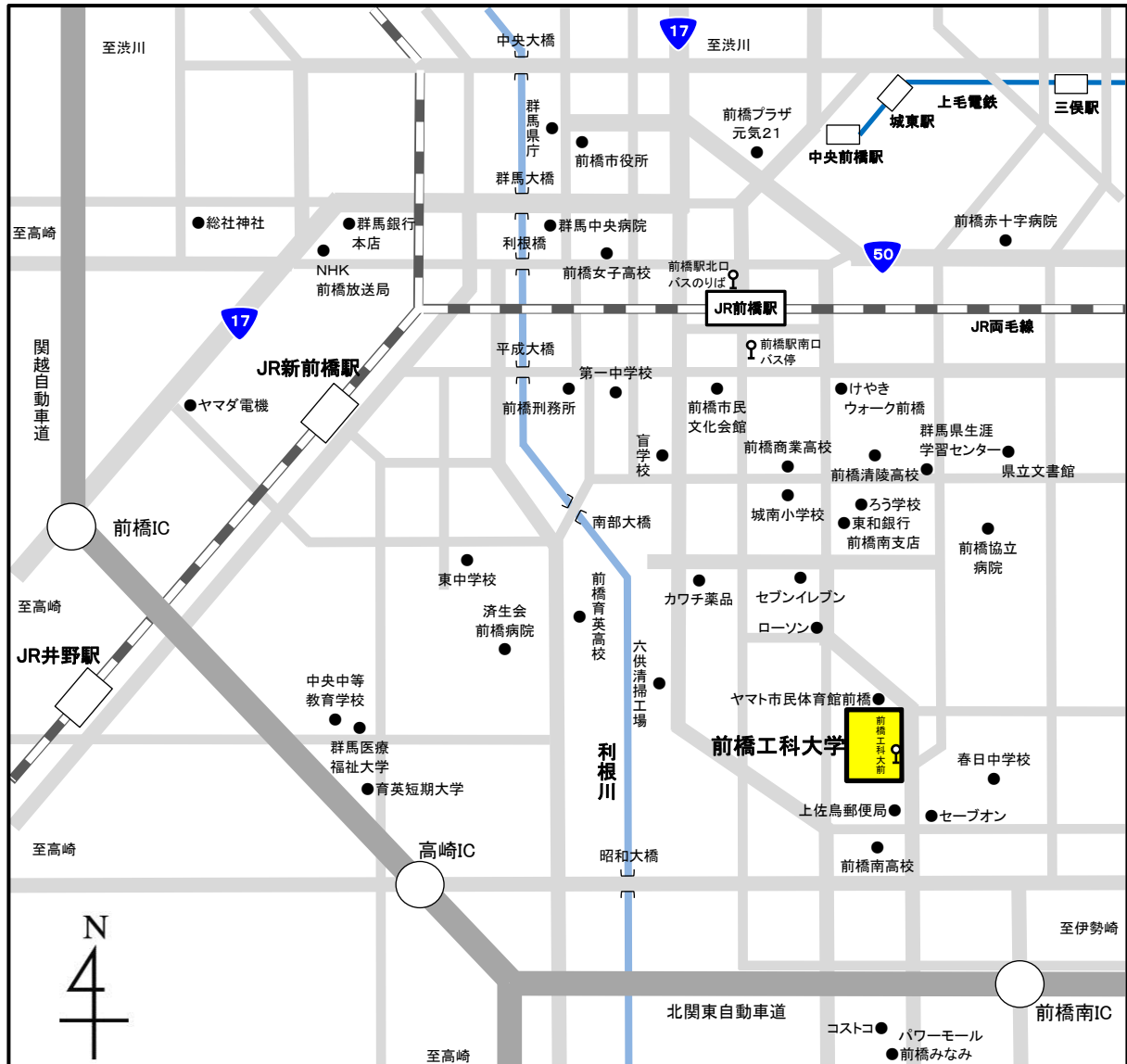
Ⅶ 出願書類一覧

出願に必要な書類		作成方法等	進学者	一般	社会人	外国人
A 票	進学志望票	本大学院からの進学志望者用です。 黒色のボールペン若しくは、パソコン等で作成してください。必ず黒色のボールペンで自署をしてください。	○	/		
B 票	入学志望票	本大学院以外からの入学志望者用です。 黒色のボールペン若しくは、パソコン等で作成してください。必ず黒色のボールペンで自署をしてください。				
C 票	受験票	縦4cm×横3cmの写真(正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。	○	○	○	○
D 票	写真票					
E 票	志望理由書	本募集要項の様式をふまえたものであれば、パソコン等で作成したもので可とします。	○	○	○	○
F 票	研究計画書	研究計画書には、指導教員の自署、若しくは記名確認印が必要となります。	○	○	○	○
G 票	修士論文の概要・研究経過報告書	修士課程修了者は修士論文の概要を、修士課程修了見込者は研究経過報告書を、それぞれ具体的かつ簡明に1,000字以内で記入してください。	○	○	/	
H 票	研究業績・技術開発業績調書	各研究業績・技術開発業績とその概要を200字程度にまとめて記入してください。	該当者のみ			
I 票	身元保証書	外国籍の者は提出してください。身元保証人の条件に該当する人が自筆で記入してください。	該当者のみ			
J 票	入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行は除く)の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受け付けできません。		○	○	○
成績証明書 [*]		出身学校所定の用紙で作成され、厳封されたものを提出してください。(本学のものについては、厳封でなくても可)なお、在学中の場合は、履修中の科目の記載があるもので、出願前1か月以内に発行されたものを提出してください。また、成績証明書が発行されない場合には事前に本学まで連絡してください。	○	○	○	○

出願に必要な書類	作成方法等	進学者	一般	社会人	外国人
		選抜方法に関係なくいずれか該当するものを提出してください。			
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書〔*〕	出身学校所定のものを提出してください。				
学位授与証明書又は学位授与申請に係わる証明書〔*〕	学位を授与された者及び授与見込みの者で出願する者は、上記卒業証明書に代えて提出してください。				
前橋市の住民票の写し	前橋市内居住者に該当する場合は、提出してください。〔6ページの「4. 入学に係る経費注1」参照〕なお、外国籍の者で国籍及び在留資格を確認できる書類として、提出してある場合は二重に提出する必要はありません。	該当者のみ			
国籍及び在留資格を確認できる書類	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(国籍及び在留資格が明記されているもの)を提出してください。	該当者のみ			○
外国人留学生特別選抜の面接に代わる論文等	面接を論文等に代える場合は、提出してください。(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)				該当者のみ
受験票返送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。なお、受験票を直接受け取る場合は切手の貼付は必要ありません。	○	○	○	○
出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望専攻・分野、差出人等の必要事項を記入し、角2封筒にはがれないように糊付してください。	○	○	○	○

- * 原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、①「原本」、②「日本語又は英語で作成された訳文」、③「その訳文を翻訳・作成した機関又は翻訳会社(翻訳者)の住所・名称(氏名)・連絡先等が記載され、押印(サイン)のある証明書」の書類をそれぞれ提出してください。
- ※ 出願書類は原本(コピー不可)を提出してください。(提出された出願書類は返却できません。)
- ※ 出願資格審査で、「志望理由書」、「研究計画書」、「研究業績・技術開発業績調書」、「卒業証明書又は卒業見込証明書」、「成績証明書」、を提出した者は、出願時に再度提出する必要はありません。

前橋工科大学案内図



交通機関のご案内

バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工科大前」下車
〔永井バス：新町玉村線、天川原町経由下川団地線〕片道200円

タクシー 約10分

徒歩 約30分

試験に関するお問い合わせ

〒371-0816
群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課学生係（入試担当）
〔1号館1階事務局内〕
TEL 027-265-0111(代表)
027-265-7361(学務課直通)
FAX 027-265-3837
E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

URL <http://www.maebashi-it.ac.jp>

